

無料検査
実施中

風しん抗体検査のお知らせ

●未来の赤ちゃんを守りましょう

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

妊婦さんはもちろんですが、妊婦さんのまわりにいる人も風しんにかからないように気をつけて未来の赤ちゃんを守りましょう。

●「抗体価」を調べてみましょう

平成24年～25年に全国で流行した風しんの傾向をみると、男性は10代後半～50代前半、女性は10代後半～30代前半の年代が多く発病しています。

また、昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は風しんの予防接種率が低く、昭和54年4月1日生まれの男性は、子どもの頃に定期予防接種のチャンスがなく、風しんの抗体を持っていない人が多いといわれています。

●対象者

- 妊娠を希望する女性
- 妊娠を希望する女性の同居者
- 抗体価が十分でない妊婦の同居者

※ただし、次の人は除きます。

- ・すでに妊娠している人（妊婦の健康診査で無料で受けられます）
- ・過去に風しん抗体検査を受けたことがある人
- ・風しんの予防接種をうけたことがある人
- ・風しんにかかったことがある人

●検査場所

●指定医療機関

※指定医療機関とは鹿児島市が契約した医療機関です。

詳しくは鹿児島市保健所におたずねください。

●検査費用

●無料

※検査前に医療機関の窓口で申請手続きが必要です。



検査の結果「抗体価が低い」といわれた人は…

風しんの抗体価が低い人は風しんに感染するおそれがありますので、感染予防に努めましょう。ワクチン接種も有効な予防手段ですので、予防接種を受けることをおすすめします。

お問い合わせ先

鹿児島市保健所 保健予防課感染症対策係

(〒890-8543 鹿児島市鴨池2丁目1-11号)

TEL: 099-258-2358 (直通)

FAX: 099-258-2392